

3月の園便り



平成 22 年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

1 月に行われた保護者の皆様とのお話会(父母の会主催)のテーマにあった、意欲と叱るについて少し補足を…。意欲(いろんなことに興味をもってやりたいと心に思うこと)＝いきいきと生きる力、意欲があれば自発的に物事に取り組んだり考えたり創造したりすることができますね。反対に、無気力な子ども…言われたことはちゃんとできるし誘われれば応じるが、自発性がない…近年こういう子どもが増えているというのです。さて、意欲を育てるために幼稚園では、子どもたちの自発的な活動、主体的に生きようとする思いを可能な限り受け止めています。子どもは伸び伸び…とよく使われる言葉です。でも本当の意味で伸び伸びできているかというと、そうではないことが多いと思います。伸び伸びさせてあげるには、周りの大人がどれだけ子どもの人格を尊重してあげられるかということが重要になります。子どもをやさしさと温かさで包み、いわねばならないことは感情的に叱るのではなく、冷静に、且つきちんと伝える… 大人が“大人の力”を使って押さえるやり方、たとえば、にらみをきかせる、強く怒る、物でつる、交換条件を出す、などのやり方をしないことが大事なのですね。

叱ってばかりいると、もっと強く叱らないと言うことを聞かないということが起こってきます。子どもは、厳しく叱られることが続くと、なぜ叱られたかが分からなくなり、叱られたという嫌な思いだけが残ることになります。 厳しく叱られると、防衛的になる・反感をもつ・あきらめが早くなる・攻撃的になる、などの状態になってしまうおそれがあります。

それより、子どもを信頼して、思いやりをもった対応をしてあげたいものです。子どもの苦しみを汲んであげるとい思いやりのある対応は、思いやりのある子どもを育てることにつながります。…とはいっても、親子というのは感情が入るのですよね。冷静に言っているつもりでも次第に力が入ってしまつて、つい感情的になって、冷静に伝えるということが難しい傾向があります。だからこそ、叱るのではなく“きちんと伝える”ということを中心に置きながら、子どもに向き合うことが大切ですね。 もうさんざん怒っちゃったから手遅れ！とか厳しく叱らないということを聞かない状態になっているからもうだめ、なんて思わないで下さいね。掛け違えたボタンを一度全部はずして、一番上のボタンからかけなおしてみるといこと、時間がかかることですが、やってみる価値はおおいにあります。 厳しさというものは、よほどその人の心の中に温かさがないと、子どもに対しては冷たく響いてしまうのだそうですよ。子どもの思いを汲んで温かさ思いやりをもって子どもに接するって難しいことですが、幼児期にこのような姿勢でいると思春期になってもきちんと話し合うことができる親子になれるのでしょね。子どもたちが意欲と思いやり(ひとと温かく接する力)をもって成長することができるように、ご一緒に子育ていたしましょう。

22年3月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	月	○	2:00		
2	火	○	2:00	新入園児さんのお楽しみ会です。	
3	水	×	11:30	誕生会です。3月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう	
4	木	○	2:00		
5	金	○	2:00		
6	土	/	/	第4土曜日振替休日	
7	日	/	/		
8	月	○	2:00		
9	火	○	2:00		
10	水	○	2:00		
11	木	○	2:00		
12	金	○	2:00		
13	土	/	/	第2土曜日	
14	日	/	/		
15	月	○	2:00		
16	火	○	2:00		
17	水	○	2:00	青ばらさんおめでとうの会を行います。 青ばらさんと一緒に遊んだり給食を食べたりします。	
18	木	×	11:30	午前保育です。	
19	金	×	11:30	第3学期終業式です。	
20	土			第43回修了式を行います。 白ばらさん、赤ばらさんはお休みです。	
21	日	/			
22	月	/		春休みに入ります。	
23	火	/			
24	水	/			
25	木	/			
26	金	/			
27	土	/			
28	日	/			
29	月	/			
30	火	/			
31	水	/			